



別所憲法9条の会 たより

2023年5月第179号

安保法制廃止・軍事費倍増・軍備強化を許さない・敵基地攻撃能力保持反対・9条守って平和外交を

6日は立夏です。「蛙始めて鳴く」の候、それならばと長池公園へ。確かにコロコロコロッと大きな鳴き声が第一デッキから聞こえてきました。ネイチャーセンターで伺ったところ、シュレーゲルアオガエル（カエルの一種）の鳴き声だそうです。第一デッキには、早一對の蜻蛉（かげろう）が飛んでおりました。そろそろ夏の生きものたちの出番になってきましたね。

「三上尚美さん(27)は、自分の生まれるはるか前の出来事を知りたかった。誰かの命を奪うため海を渡った人たちと、それを見送った家族がいたことを。この国にもかつてあった戦争という理不尽さに誰もが触れられるよう、無料で見られる小さな「資料館」をインターネットに開いた。」(2日新聞記事)

76年前に制定された日本国憲法は、大戦の悲惨な体験を踏まえて生まれました。占領下で制定されましたが平和を願う国民は歓迎したからこそ定着し今日まで続いています。安全を守りながら平和主義の理念を未来へどう繋げていけるのか、世界が不安定な今だからこそ思案すべきだと思います。軍拡という力より、戦争を起こさないために力を尽くす政治であってほしいと願うばかりです。



5月のご案内

5月例会

日時 **5月22日(月) 13:30～16:00**

会場 **長池公園自然館 レクチャールーム**

内容 **今年の夏に開催予定の「平和展」について相談**

【世話人会での平和展の構想案】

長池公園自然館の展示室を借りて4、5日間開催予定

展示を主として、過去の戦争から学び、9条守り、平和を考える機会を作って市民との交流の場を持つことを目的に開催を、と考えています。

★みんなで内容を考えて作り上げたいと思います。

参加費 **300円**

★新型コロナウイルス感染症対策については、会館の指示に従いご参加下さい。



堀之内駅前での宣伝
5/15(月) 10:00～
ロシアのウクライナ侵略反対
大軍拡・大増税反対署名
改憲させない・9条守ろう

5/14(日) 14:00～
NO WAR 八王子アクション
JR 八王子駅北口

5/19(金) 18:30
戦争させない
9条壊すな 19日行動
議員会館前

4月の例会報告



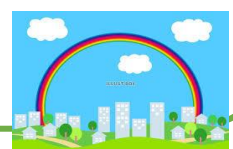
4月例会では、「マイナンバーカード・私たちのプライバシーは守られる？」をテーマに講演を開催しました。当日の講師の小倉さんからは「マイナンバー/カード批判の考え方」をテーマで話され、何故政府がこのようなマイナンバー制度や、カードをすべての住民に持たせようとするのか？を牛肉の個体識別番号や新型コロナ濃厚接触者追跡のためのアプリなどを見ながら説明されました。マイナンバーは、住民を同じように管理、利用するシステムだと説明され「何故？」を考える事例を示されました。

自分がマイナンバーを作り利用する立場で考えれば、おのずとナンバーやカードの利用方法はわかるのでは？とのお話でした。

デジタル化され個人の情報が特定され共有されることがなぜ必要か？その人が何者かではなく、すべての人が人権を保障され、相互扶助の関係をつくりあげてゆくことこそ必要。と話されました。

★当日の動画は、会のホームページにアップされています。是非ご覧ください。

当日の資料をご希望の方にはお届けしますので、世話人までご連絡ください。



マイナンバー 意見あれこれ聞きました



講師の話をきき、どのようにマイナンバーが使われてゆくのか不安が大きくなった。

コンピューターには良し悪しの判断は出来ない。そこに命を預けることの危険性は？

個人の資産情報が明らかになることは良い事。税制の不公平が是正される

カードを持つ、持たないで差別化がどんどん進むと不安になる。差別はされたくない。結果的には持たざるを得ないのでは？が、持たない権利を考えないと・・・世界の動きは？

政府や民間企業は自分たちの欲しい情報をナンバーに集約して増やしてゆくだろう止める事は出来ないの？



個人情報保護をほぼ欠いたままの政権のやり押しは、横浜・川崎での誤発行の様にいずれ破綻するのではと思う



カードで人の移動を把握し、人と人との関係を分析する仕組みもあるとか。リーダーシップをとる人のコントロールも可能？

保険証の紐つけが問題になっているが、そもそも保険証が必要なのか？誰もが医療や福祉を受ける権利があるはず

投稿欄

落ち目の国にはその理由がある

最近、こう言った国会議員がいる。『差別は許されない』という厳しい言葉は日本の国柄に合わない。『…のだそうだ。以前にはこう言った人もいた。』我が党では天賦人権説は採らない。『さらに、国民に主権があるというのは間違っている。』いずれも仲間内の会合での発言だったらしいから、心底そう思っているということだ。あきれ返るし、政治家がそんなことでいいの？とは思えけれど、そういう考えをしているんだとはわかる。

片や、『**そう言っけば良い！**』というのがある。心底そう思っているわけではない。つい最近、総理大臣が言ったのは『専守防衛は変わらない』。少し前まで『敵基地攻撃を可能に』と言っていたのが本音。数年前の総理大臣は『女性が輝く社会』としきりに言っていた。女性を利用することしか考えていない。『TPPには参加しない。農家を守る。』というのもあった。農業の未来や食料自給率のことは頭にない。『原発を徐々に削減』とも言っていた。実際は60年運転を可能にし、新設もする。最近の審議の『化石燃料から脱炭素エネルギーへ移行』。ま、これは原発が念頭にあるのだから、うそではないだろうけれど、石炭をやめる気は毛頭ない。現総理大臣の『誰もが家庭の経済状況にかかわらず、質の高い教育を受ける機会を平等に与えられようにすることが重要だ。』それは本当だけれど、『そのために憲法改正が必要だ。』は『だまし』。幹事長の『自民党と統一教会は一切の組織的関わりはない。』も口先発言。『マイナカードは国民の利便性の向上のため』。実際は健康保険証が廃止される。消費税を10%にしたときは『増税分はすべて社会保障費に使う』と言い、実際はその内の20%を充てたのみだった。

極めつけは『緊急事態条項』と『緊急事態宣言』の字面が似ているのを利用して、憲法に『緊急事態条項』が必要、これがないと、天災の際に緊急車が通る道路上の放置車を撤去できないと言ったりする。『国会議員の任期延長』を実現するだけだとも言う。



ほんとうに思っていることは間違っても口にできないと知っているからこそ、これらの「うわべ取り繕い」をする。有権者は「言ってること」を真に受けてはいけない…のだけれど、「取り繕い」と知っていて「問題ない」と投票している人が大勢なのだろうことが想像され、暗澹。 Ak.

